

めだった積極的な参加

第十三回文化祭

10月19日から三日間、公会堂を中心し、展示会、学校音楽会、邦楽と舞踊の会、アマチュア無線公開など、第十三回文化祭が行なわれたが、とくに展示の部では昨年比、写真、写真、短歌華道などの積極的な参加がめだち、また、今年から初めて参加した文化財の展示など、例年の年行事という情性を抜けて出して活気があり、多数の参観者を動員して、一応の成功をおさめた。

展示物では、絵画が洋画二十

点、日本画六点、写真八十点、書道十四点、短歌六十一點、俳句三十点、川柳八十三点、工芸三十七点、華道四十五点、茶花十九点、山草七十八点、茶道五社中、文化財三十点と各部門ごとに予定した数よりも多く出品され、また、児童生徒作品では、絵画九十五点、書道百九十七点、文芸は俳句五十六点、短歌三十七点、統計図表九点という見事な力作の展示であった。

また、市内学校音楽会は東中学



【写真】書道・華道の展示会

校講堂で行なわれ、十八番組、出演者多数が参加して盛大に行なわれた。邦楽と舞踊の会は公会堂で行なわれ、十五番組、百四十人が出演し、謡曲、箏曲、

久次良薬師堂改築

建立は四百七十年前のもの判明

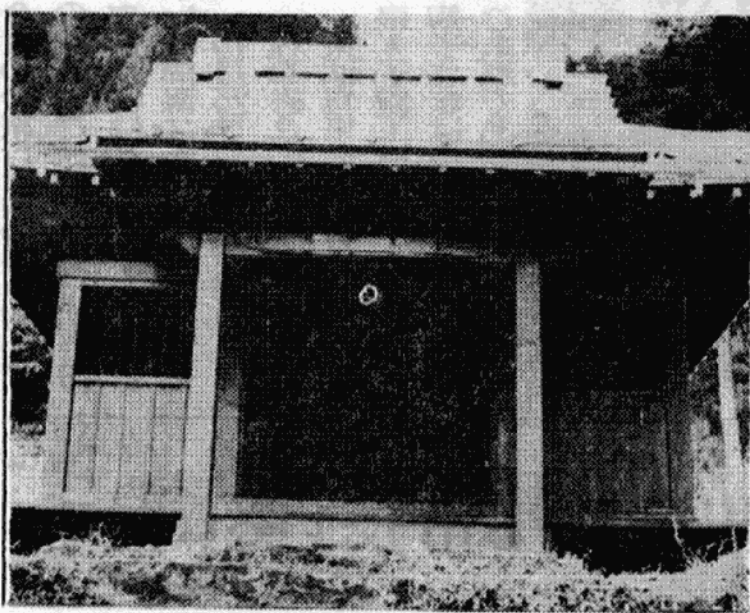
日光中学校の西側の山を少し登ったところに、大きな坪ほどの久次良薬師堂がある。

安産、目の守り神として、昔から多くの人達に信心され、毎年4月6日の薬師如来の命日には部落で法事を行ない、堂を守ってきたが、最近、堂の腐朽が甚しくなったので、

久次良自治会では、地元の人たちや、外部からの寄付金約六十万円で、お堂を改築、10月18日に、菅原輪王寺門跡、大島市助役らを招いて落成式を行なった。

久次良薬師堂の改築にあたり、薬師如来を祀った厨子の扉の裏側に「明徳五年丙辰八月建立権少僧都朝葉坊秀園」の文字を発見、いままでわからなかった堂の歴史が明らかになった。明徳五年とは、西暦千四百九

常磐津、長唄、舞踊など多彩な番組を披露、新人も多数参加して文化祭にふさわしい催し物であった。アマチュア無線公開は、三日間とも公会堂で行ない十二人のアマチュア技師が参加して無線公開を実施し、参観者の興味を、ひときわひいていった。



十六年、今から約四百七十年前、つまり戦国時代で、座禅院(輪王寺事務所)が日光全山を管理していた頃である。久次良自治会では、この仏像を市の文化財として申請すると同時に、今後は、市全体の薬師堂にしよと意気込んでいる。

「心の目いつも開いて火の用心」

秋の全国火災予防運動

11月26日～12月2日

- 冬の訪れとともにまた火災シーズンがやってくる。
- まい年、11月末から年末にかけてと、春先が火災発生のピークになる。
- ことしも火災多発期にさきかけて、秋の全国火災予防運動が全国一せいにされることになった。
- 期間中には、
 - サイレン・警鐘の吹鳴
 - 午前7時・正午の二回
 - 各戸のカマド検査
 - 消火器の展示および取扱いの実演会。
 - 大火防止の消防総合演習
 - 消防団の内点検
 - 消防自動車の街頭行進
 - 消防機械、器具、消火栓、貯水槽等の点検整備などの諸行事が実施されることになった。

【写真】建立なった久次良薬師堂

日光市監査委員

柳田甚三郎氏逝去

日光市監査委員柳田甚三郎氏(87才)は、かねて高血圧症のため東京都千代田区富士見町の東京通信病院で療養されていたが、10月13日午前11時15分、心臓衰弱のため亡くなられた。氏は昭和、日光郵便局長を歴任して昭和31年退職するまで、実に41年間の役人生活を送られた。その後、日光市議会議員を二期つとめられ、市勢発展に大いに尽力されると共に、今年7月には日光市監査委員に選任され今後の活躍が期待されていた。